

災害から身を守る

災害が起きたときに一番大切なのは、身を守ること！
日頃からいざというときを想像して、考え、準備をしましょう。

水害から身を守ろう
地震から身を守ろう
避難時も身を守ろう
要配慮者を守ろう

災害に備える

災害を止めることはできないが、被害を減らすことはできます。
今、できることをすぐに実行しよう！

情報を得る
持ち出し品・備蓄品を備える
屋内・屋外の安全対策をする
自助・共助・公助で備える

災害を知る

災害による地域の危険性を知ろう！
今、何が必要か確認しよう！

水害を知る
土砂災害を知る
竜巻を知る
地震を知る

「マイ・タイムライン」を作ってみよう



災害時に「いつ」「誰が」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の行動計画表が「マイ・タイムライン」です。

避難のための準備は「いつも使っている薬を用意して」「大事なものを二階に上げて」などさまざまです。市内の小中学校でも「マイ・タイムライン」を学ぶ授業を、平成29年度から取り入れています。

詳細は、下館河川事務所HPの「みんなでタイムラインプロジェクト」で!!

みんなでタイムラインプロジェクト

災害時にも自分に合うものを食べよう



地震発生時、支援物資はすぐに届くとは限りません。災害発生から3日間(72時間)は人命救助が最優先になります。まずこの3日間を自力で乗り越えられるよう準備しましょう(推奨は1週間分です)。

保存性の良いレトルト食品など、いつもより少し多めに用意して、食べて減った分を補充する「ローリングストック法」。この方法ならアレルギーや食事制限などの中にあっても、自分に合った食事が続けられ、災害時のストレス軽減にもつながります。

自助と共助が重要です



自宅周辺の危険場所、避難所、避難場所、避難経路、情報入手方法の確認のほか、非常持出袋の準備、家具の転倒防止の確認など、自分自身や家族でできることがあります。防災について、家庭で話し合っておきましょう。

災害発生時は、地域住民が連携・協力して防災活動に取り組む必要があります。地域の自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもと、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行っています。「自主防災組織」を結成しましょう。



特集2 下妻市 防災ガイドブックをご活用ください

私たちは、命を守る行動をとるために、日頃から災害を知り、災害に備え、身を守るための対策を確認しておく必要があります。

☎ 消防交通課 ☎ 43-2119 FAX 43-4214

知る・備える・守る 今、はじめよう！いざというときに

防災ガイドブックについて

市は、鬼怒川・小貝川の浸水想定区域などが更新されたことから、防災ガイドブックと洪水ハザードマップを作成して配布しています。

「下妻市防災ガイドブック」は、皆さまがお住まいの地域にひそむ災害を、改めて認識して、その危険性や被害想定をもとに、日頃の備えや災害時の行動の手引きとなるよう作成しています。さまざまな機会にご活用いただき、ご自身の生命はもとより、災害から大切なご家族や地域を守るためにご活用ください。

洪水ハザードマップについて

鬼怒川・小貝川などを管理する国土交通省関東地方整備局下館河川事務所が平成28年8月に鬼怒川、平成29年3月に小貝川の洪水浸水想定区域図を指定・公表。それを受けて、市は鬼怒川と小貝川の洪水ハザードマップを改訂しました。防災ガイドブックの巻末ポケットに入っていますので、ご活用ください。

洪水浸水想定区域や家屋倒壊等は、浸水想定区域に入っていない区域でも、本川に合流する支川のはん濫やシミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨によるはん濫、内水によるはん濫等(ガイドブックP2)が発生した場合には、浸水が発生することや、想定される浸水深が実際の浸水深と異なること、家屋倒壊・流出などが発生することがありますのでご注意ください。

ガイドブックの配布と入手方法

市では、防災ガイドブックを市内の各世帯に1部ずつ配布しています。自治会に未加入などでお持ちでない方は、消防交通課(本庁舎2階)で配布いたしますので、お越しください。または、市ホームページからダウンロードできます。

防災メール利用しよう



QRコードを読み取り、サイトにアクセスして登録してください。

有料広告欄

有料広告欄